

## 2022年度 びわ湖トラスト親子環境学習講座 「写生」実施報告書

共催： 滋賀県立琵琶湖博物館  
 後援： 大津市教育委員会、草津市教育委員会  
 協賛： 東レエンジニアリング西日本株式会社  
 概要： 滋賀県在住の風景画家ブライアン ウィリアムズ先生に  
 美しいびわ湖のことや写生を学び、親子で写生を行う。



### プログラム

実施日	8月27日(土)	
場所	琵琶湖博物館「うみっこ広場」および烏丸半島湖岸	
参加者	13組(29名) 子供：15名、保護者14名	
講師	風景画家 ブライアン・ウィリアムズ	
助手	中学校美術講師	
びわ湖トラスト	理事	2名
	事務局	2名
行程	琵琶湖や写生について講義・写生体験・先生から講評	

昨年は前日に緊急事態宣言が発出となり、急遽中止となったが、本年は新型コロナウイルス(COVID-19)感染症が第七波のさなかであったが、下記の対策を行い実施した。

- ① 会場は屋内ではなく、屋根付き屋外施設「うみっこ広場」にて開催
- ② 感染防止のため、参加者数は例年の半分ほどの人数で実施した。
- ③ 当選者へは感染防止策、留意点も事前に配布。当日は受付時に検温を実施
- ④ マスクを外しての昼食が一番感染リスクが高いため避け、昼過ぎに終了
- ⑤ 船内で密になることを避けるため、はっけん号の運行は見合わせた。



9時45分に「うみっこ広場」にて氏家理事長の挨拶とガイダンス・ブライアン先生の紹介を行い開会した。講義後はブライアン先生に連れられて、参加者は写生道具を抱えて烏丸半島湖岸に向かった。写生の講義に先立ち、ブライアン先生は「琵琶湖を知ろう！」をテーマに琵琶湖・比叡山・比良山系やヨシやエリを目の前にして“琵琶湖の大切さ”や“琵琶湖の環境保護”について熱い思いを語った。引き続き写生の講義に移り、画用紙に自ら

筆を運ばせて空を描き、山を描き、ヨシを描き、目の前の景色を保護者と生徒に冗談を交えながら自ら描き、写生の技法を指導した。



一通りの説明の後はいよいよ実践。見本を見せてくださった先生のようにうまくいかに  
少々嫌気のさす子もいたのだが、ブライアン先生と武川先生がそれぞれの個性に合ったアドバイ  
スや指導をして頂き、写生の楽しさを知っていった。



12時半からは作品講評発表会を開始。子供、保護者は順番に「うみっこ広場」ベンチ上に  
力作を並べ、先生は色づかい・勢い・構図について必ず良いところを見つけては褒めて下さ  
り、参加者は作品に対する褒め言葉に照れつつも笑顔で聞いていた。最後はじゃんけん先生  
の作品をいただく方を決めた後 13:15に閉会した。

また、今回はテキストとして、先生の絵画とエッセイ『びわ湖 ブライアンの目』を参加一  
家族に1冊ずつ贈呈した。





例年の様に「はっけん号」に乗船しての湖上からの琵琶湖体感は、三密回避から実施できなかったが、ブライアン先生からの直接写生指導を受けて、参加者それぞれが良い夏の思い出を作ることが出来たと思われる。

また、終了後に琵琶湖博物館のブライアン先生制作の原画「380万年前の琵琶湖」を見て頂く機会として、保護者には琵琶湖博物館 常設展の入館券を配布した。



今回の講義で描いてくださった先生の作品

### コロナウィルス感染症についての影響と対策

- ・マスクを外すと感染のリスクが増えるため、昼食をとらないように昼過ぎで解散とした。  
(9:45 開始 ~ 13:15 終了)
- ・密状態を防ぐため、参加人数を縮小。募集人数を20組40名とした。(40名程当選連絡をしたが、体調不良などでキャンセルや欠席が多く、当日の参加者は13組29名)
- ・抽選結果郵送時にコロナウィルス感染症対策に関する案内を発送。参加時に健康チェックシート提出とし、開催日を含む3日間の健康観察と検温を行っていただいた。また、当日は受付時にも検温を実施した。
- ・参加者、講師およびスタッフ全員が常時マスク着用した。
- ・会場に消毒液を設置。手指やテーブルの消毒は各自行っていた。
- ・講義・写生とも屋外施設・屋外(湖岸)にて行い、密にならないように努めた。
- ・はっけん号の運行は見合わせた。
- ・例年はトイレで絵具セットの片づけを行っていたが、トイレ以外の目的での使用を禁止。水の持ち込み・持ち帰りをお願いし、絵具セットの洗浄も帰宅後行っていただくよう事前に通知した。(密を防ぐためと会場を汚さないため)